

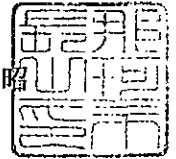


那 道 第 149 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

那珂市長 小 宅 近 昭



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記のことにつきまして、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

茨城県 那珂市

・近代的には唯一の大量交通手段であった鉄道網が、地方部においては廃線若しくはダイヤ数減少等による衰退が進行している現在、これに代わる幹線道路の整備が充分には補完されているとは云い難く、機能の代替が進んでいないのが地方の現状である。また、地方部においては限界集落等の過疎対策、地域間の人口収斂による病院や店舗等の統廃合に伴う日常生活や緊急避難に資する道路整備が喫緊の課題であり、地方が生き残るための必要最小限の社会資本である。いわば、其処に住む人々の生命線の確保といえる。このことを充分に勘案した上で、真に必要な道路建設事業計画を策定していただくことが、地方の要望である。

・道路は市民が安全で快適に暮らすための重要な必要不可欠な交通手段であり、経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であります。本市においては道路の改良率が低く災害時の緊急車両が通行出来ない箇所、歩道がない箇所、道路幅員が狭小な箇所など危険箇所が多数存在しております。又、市内の幹線道路においては朝晩の交通渋滞が発生し早期の整備が望まれております。高齢化、少子化が進んでいるなか地域格差の解消、地域の活性化を図るため道路の整備に対し住民から強い期待が寄せられています。以上のことから道路財源については道路整備のため安定的かつ確実な財源として確保するとともに、地方が真に必要な道路整備を行うため、地方公共団体への配分割合を高めること等により、地方公共団体における道路財源の充実が図られることを要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題

様式②

茨城県 那珂市

○現状 ・本市は、ほぼ全域が平坦であり、従って可住地の面積が広く、これに伴って市道延長は約1,155kmを数えるが、この内約79%が未改良の状態である。また、本市の総合計画における平成29年度の想定人口は、少子高齢化社会の到来にも拘らず、ほぼ横ばいであると予想しているが、これは限界集落の危惧がある本市の北辺部自治体からの移住者の流入、水戸勝田都市圏のベタタウン的地勢による本市への移住希望者の流入等が必要と考えられる。	○課題 ・これらの市道延長の現状並びに将来の市街化区域内の居住者増を受け、社会資本の整備を急ぐ必要がある。また、周辺都市へのアクセスの向上も求められると想定される。にも拘らず、本市の財政状況は、政府の三位一体改革の地方交付税改革の影響により、約4億円の減収を余儀なくされ、このため市民が求める社会資本整備に資する投資的経費への充当が極めて厳しい状況になっている。
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

②-2地域の目指すべき将来像

・財政状況が非常に厳しいなか、本市の目指すべき将来像としては、安全で快適な住みよいまちづくりのために、利便性の高い交通基盤を整え、魅力のある市街地を形成することにある。

様式③

茨城県 那珂市

今後の道路行政についての意見・提案
③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
利便性のある交通 基盤の構築	市道改良率を平成24年度までに20.8%から23% までに伸ばす。	安心して通行できる交通ネットワークを整備する。	
魅力ある市街地の 形成	市街化区域内幹線道路の整備率を平成24年度まで に59.1%から64%までに伸ばす。	都市基盤の早期整備を図ることにより、市街地の成 熟度を増す	